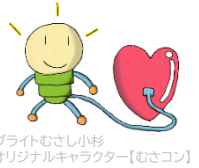


防災訓練



ブライトむさし小杉
オリジナルキャラクター【むさこん】



10月19日、中原区の危機管理担当者(2名)が、防災出前講座として「風水害について」講義をして下さいました。2019年の台風19号によって、河川に流せなくなった雨水が排水管を逆流する『内水氾濫』が発生しました。

街中に水が溢れだした災害を機に、「内水氾濫」への対策が進められたそうです。

『内水ハザードマップ』によると、ブライトむさし小杉エリアは、内水による浸水リスクは低いのですが、『洪水ハザードマップ』では多摩川の氾濫による浸水リスクが想定される為、普段からの浸水対策が必要です。

浸水対策の一つとして、落ち葉やゴミで側溝が塞がらないようにすることが挙げられました。

毎朝ブライトでは、落ち葉やゴミで側溝が詰まらないように、掃き掃除をしております。平常時からの何気ない取り組みが、周辺地域の防災に繋がるのだと思いました。

風水害は、地震と違い危険の予測ができる為、事前に対処する事ができます。兎にも角にも事前準備が肝心で、『浸水対策』『持ち出し品の準備』『マイタイムライン(避難計画)』が挙げられますが、TVやインターネット、川崎市からの情報や知識を収集し、頭に入れておく事も付け加えられるでしょう。

出前講座が終わって改めてテキストを見返すと、適切で有益な情報の多さに危機管理担当の方々が、“区民を守ろう”と取り組んでいるのが伝わってきました。

事前準備と正しい知識や情報、それに伴った安全な行動ができれば、必要以上に恐れる事はないのではないのでしょうか。(利用者 Nさん)



スクラッチアートを楽しもう



10月21日、ブライトでは新たな取り組みとして、スクラッチアートをを行いました。

黒いシートを専用ペンで削ると、美しい絵が浮かび上がるスクラッチアート。「星座」「和柄」「風景」の中から好みのシートを選んで、チャレンジ。専用ペンで削ったり、より細かく削れるよう竹グシを使いました。

更には竹グシの先をカッターナイフで削って尖らせるなど工夫しながら、作業に取り組みました。

最初はどうも出来ずにため息をつく利用者もいました。

しかし、利用者のTさんのリクエストでクリスタルボウルの音楽を流して作業に取り組むと、自然と集中する雰囲気になりました。

クリスタルボウルの音楽はリラックスや睡眠向けですが、静寂な心地よい響きは、適度に肩の力を抜いて集中力を持続させる効果をもたらしました。

丁寧に削っていくと綺麗な絵が浮かび上がりました。

細かい作業だったため、時間内に完成することが出来なかった利用者から、「スクラッチアートの講座をまた設けてほしい」という要望があり、今後も開催していく予定です。(利用者 Wさん)

